シラバス（授業内容）

インナービューティ科　2年

メイクアップアーティスト専攻

学校法人　中村学園
アイエステティック専門学校

シラバス（授業内容）

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	P2D	
1年単位	前期	15 時間	後期	30 時間	1年合計単位	45 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	－	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。 1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					

＜授業計画＞		前 期	
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	お礼状の作成	Word お礼状の作成
第2回	2	画像の編集と加工	Word Officeのフォトレタッチ機能
第3回	3	図の挿入と図形の活用	Word 図の挿入と図形の活用
第4回	4	PowerPoint復習	PowerPoint復習
第5回	5	ノートの活用と印刷	PowerPoint ノートの活用と印刷
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成
第7回	7	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成
第8回	8	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成
第9回	9	作表とワークシートの操作	Excel オートフィルの復習、ワークシートの操作
第10回	10	予約表の作成	Excel 予約表の作成
第11回	11	グラフ機能	Excel グラフ機能
第12回	12	データベース機能	Excel データベース機能
第13回	13	試験対策	Excel 試験対策
第14回	14	期末試験	Excel 期末試験
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と前期の振返り

初回持ち物	教科書、クリアファイル、筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	フレッシャーズスキル			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	宮﨑 愛子					
	実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	オリエンテーション	授業の目的と狙い・講師紹介と学生自己紹介
第2回	2	働くことの意味について考える	学ぶこと・働くことの意義や役割を考えよう
第3回	3	ストレスコントロール術	そもそもストレスとは？脳とストレスの関係
第4回	4		ストレスの受け取り方・受け流し方を知ろう
第5回	5	アンガーマネジメント	「怒り」の感情の正体とは
第6回	6		怒り感情のコントロール方法（自己理解）
第7回	7		怒り感情との向き合い方・対処法（他者理解）
第8回	8		クレーム対応／クレームの考え方
第9回	9	Highly Sensitive Personについて	Highly Sensitive Personについて(HSP・HSS診断テスト)
第10回	10		HSS・HSPとの付き合い方、接し方
第11回	11	キャリアデザイン	未来の自分を想像する／中長期的な目標設定
第12回	12		PREP法で伝えよう
第13回	13		個々の発表
第14回	14	試験	期末試験
第15回	15	試験解説・まとめ	期末試験解説

初回持ち物	なし

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	フレッシャーズスキル			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	宮﨑　愛子					
	実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	できるビジネスパーソン	マナーを身につけ、今から実践する意味を考えよう
第2回	2		上品さとは？好感を持たれる”見た目・ふるまい・話し方”①
第3回	3		上品さとは？好感を持たれる”見た目・ふるまい・話し方”②
第4回	4	傾聴力／雑談力	新社会人に必要なのは傾聴力「聴く力の重要性」
第5回	5		雑談力を鍛えよう「人間関係がよくなる雑談の心構え」
第6回	6		傾聴力と雑談力を伸ばそう
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション
第8回	8		アサーティブに表現する
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に”ありがとう”を伝える
第14回	14	試験（対面）	後期 期末試験
第15回	15	試験解説・まとめ（対面）	試験解説・まとめ
初回持ち物	なし		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	就職ガイド			クラス名	P2D	
1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	安藤　恵					
	実務経験	―	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要	就職活動で必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。 また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来の キャリアデザインを考え、卒業後に備えます。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	面接練習	就職活動進捗確認・面接練習
第2回	2		面接練習
第3回	3		面接練習
第4回	4	一般常識	SPI・GAB対策
第5回	5		適性検査・一般常識対策
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッション対策
第7回	7		グループディスカッション練習
第8回	8	社会人とは	新社会人に求められるもの
第9回	9	ビジネスマナー	ビジネスマナーがなぜ必要か
第10回	10	コミュニケーション	コミュニケーションの種類～ノンバーバル～
第11回	11		コミュニケーションの種類～バーバル～
第12回	12	サービス接遇	サービスマナー・慣用句
第13回	13	働くことの意義	○○○で働くことの意義
第14回	14	期末テスト	期末テスト
第15回	15	モチベーションコントロール	モチベーションアップから得られるもの

初回持ち物	筆記用具・就職ファイル

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	イベントプロモーション			クラス名	P2D	
1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	担任					
	実務経験	－	－			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3 4/12（水）	各目標決め	クラス目標／個人目標／リーダー・サブ決め／SAM選出
第2回		コミュニケーションスキル①	自分・みんなの印象
第3回		コミュニケーションスキル②	マシュマロチャレンジ
第4回	4－8 9/8（金）	スポーツ大会	出場競技決め ルール説明・確認
第5回			
第6回		学園祭① （1・2年生合同）	学園祭：出店概要、希望使用教室について 各担当、内容決め 貸出備品リスト作成／購入予定リスト作成 アンケート
第7回			
第8回			
第9回	9－11 9/11（月）	学園祭②	学園祭準備 接客マニュアル（流れ）、技術マニュアル、メニュー 作成物（看板、ビビットビューアー、チラシ、予約表、予約カード等）
第10回			
第11回			
第12回	12－15	スポーツ大会	スポーツ大会本番
第13回			
第14回			
第15回			

初回持ち物	筆記用具、AIEノート

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	イベントプロモーション			クラス名	P2D	
1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	担任					
	実務経験	－	－			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					

＜授業計画＞		後 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回 第2回 第3回	1－3 11/1(水)	学園祭準備	設営、リハーサル
第4回 第5回 第6回	4－6 11/2(木)	学園祭①	学園祭当日
第7回 第8回 第9回	7－9 11/3(金)	学園祭②	学園祭当日
第10回 第11回 第12回	10－12 2/27(火)	FUS準備	FUSリハーサル
第13回 第14回 第15回	13－15 2/28(水)	FUS	FUS本番
初回持ち物	筆記用具、AIEノート		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	皮膚科学			クラス名	P2D	
1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	吉田　里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	1年でやった内容に加え、トラブル肌に関しての知識を高め、AEAに出る範囲の問題も習得すること					
到達目標	お客様へ説明できるような肌への知識を深め、検定の問題も合格点を目指す					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	トラブル肌とは何か	Chapter5の導入・トラブル肌とは
第2回	2	発疹の種類	湿疹・発疹の種類
第3回	3	ニキビ	ニキビの正式名称と状態
第4回	4	敏感肌	敏感肌の理由と対策
第5回	5	接触皮膚炎	皮膚炎について
第6回	6	アレルギー性疾患	アレルギーの種類と対策
第7回	7	その他の皮膚疾患	感染性・非感染性疾患について
第8回	8	まとめ	小問題
第9回	9	センター試験問題集	1～74番の問題復習
第10回	10	センター試験問題集	1～74番の問題復習
第11回	11	センター試験問題集	1～74番の問題復習
第12回	12	センター試験問題集	1～74番の問題復習
第13回	13	テストの話	テスト対策
第14回	14	期末テスト	期末テスト
第15回	15	返却	解説と後期の説明

初回持ち物	皮膚科学の教科書とノート

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	サロンマネジメント&法規			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	吉田　里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	会社の経営と接客方針に対して学び、法律を理解すること					
到達目標	社会の常識と法律を学ぶことで、接客業で生かせるようにすることと、検定も合格すること					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	サロンマネジメント＆法規					
＜授業計画＞	前　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	サロンの経営とは	業界の役割
第2回	2	やりがいのある仕事とは	美容の業務・内容
第3回	3	サロン業務	クレーム対応とサービス業
第4回	4	能力評価	経営者と雇用される側
第5回	5	業界の成長	業界の発展・問題集
第6回	6	法律関連の話	関連法規とは何か
第7回	7	施術に関する法律	施術・化粧品・食品に関する法律
第8回	8	契約と民法	消費者基本法・契約法
第9回	9	特定商取引とは	特定商取引とは
第10回	10	分割払いとクレジット	分割について・支払方法・キャッシュレス
第11回	11	個人情報保護法	会社の守るべきもの＆個人のSNS運用
第12回	12	自主基準とは	国家資格でない法律の基準について
第13回	13	問題集	テスト対策
第14回	14	テスト	期末テスト
第15回	15	返却	解説とまとめ

初回持ち物	サロンマネジメント＆法規の教科書

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	販売心理学			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	30 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	吉田　里子					
	実務経験	有	理系大学で販売心理学を習得・その後の会社内でも通信教育を続け高い実績がある			
目的及び概要	自分が大切にしたいお客様に満足していただくということは、どういうことでしょう。お客様の心理を学び、素敵な接客ができるようになることが目的です。					
到達目標	将来、経営者の心理も理解し、人気のある素敵なビューティーアドバイザーになる第一歩が目標となります。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書						
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1・2	導入	販売心理学とは・接客に必要なもの
第2回	3・4	常識とは	満足と不満足・常識と非常識
第3回	5・6	小物と心理	財布の持つ価値観と開け方
第4回	7・8	色の歴史	色によるイメージ支配とコントロール
第5回	9・10	季節の売り上げ	季節と限定商品
第6回	11・12	女性脳・男性脳	女性脳と男性脳の購買意欲の違い
第7回	13・14	経営者の考え方	求人と店のアニュアル・正社員について
第8回	15・16	営業の基本・ディスプレイについて	儲かる店の法則とは
第9回	17・28	説得から納得へのトーク	評判は他人目線・話し方で売り上げは変わること
第10回	29・20	人間観察	自分をどう見せるか・見られるか
第11回	21・22	プレゼンテーション	クロージングの仕方・コスパ
第12回	23・24	プレゼンテーション実演	好きなものをクラスメイトに紹介する①
第13回	25・26	プレゼンテーション実演	好きなものをクラスメイトに紹介する②
第14回	27・28	期末試験	テスト
第15回	29・30	解説とまとめ	返却と説明

初回持ち物	筆記用具・ノート又はルーズリーフ

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	エステティック実技理論			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	15　時間	1年合計単位	15　時間
2年単位	前期	15　時間	後期	－	2年合計単位	15　時間
担当講師	大内 博子					
	実務経験	有	エステティシャン、インストラクターの経験をもとに検定試験合格に必要な、機器やカウンセリングのスキル、接客接遇マナーの指導を行う			
目的及び概要	AEA認定エステティシャン資格取得を目標にした知識習得の授業です。 マッサージの他に様々な施術の知識を習得し、プランニングが出来るようにします。 後半では、肌悩みに合わせおススメ化粧品のプレゼンテーションを実施致します。					
到達目標	エステのマッサージ以外の施術の知識・技術の習得 スキンケアの知識を深める					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	ボディ実技理論・美容脱毛学					

＜授業計画＞		前　期	
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	シラバス・エステ機器	シラバスについて/カッピング、カッサ
第2回	2	バンテージ バイブレーション	足湯／バンテージ
第3回	3		バイブレーション機器
第4回	4	低周波機器 超音波機器	低周波機器
第5回	5		超音波機器・ジェル
第6回	6	WAX脱毛	WAX脱毛手順流れ確認／実技期末試験ペア発表ヒアリング
第7回	7	ブラシ洗浄・ION導入	背中ブラシ洗浄・ION導入・石膏パック準備
第8回	8	期末試験準備	モデルに合わせたコースプランニング
第9回	9		
第10回	10	プレゼン準備	チーム＆プレゼン商品＆トラブル決め
第11回	11		肌トラブル おススメ商品 特徴・効果・使い方 パワポで作成
第12回	12		
第13回	13		
第14回	14	プレゼン①	期末試験プレゼン
第15回	15	プレゼン②	

初回持ち物	ボディ実技理論・実技ファイル

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	エステティック応用実技			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	30 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	30 時間	後期	－	2年合計単位	30 時間
担当講師	深山 美咲・大内 博子					
	実務経験	有	エステティシャン、インストラクターの経験をもとに検定試験合格に必要な、機器やカウンセリングのスキル、接客接遇マナーの指導を行う			
目的及び概要	AEA認定エステティシャン資格取得に必要であり、エステサロンで使用されている主な機器やWAX脱毛などの技術やカウンセリング、分析力の向上を目指し、お客様に合うコース・化粧品の選択が出来るよう習得する。					
到達目標	AEA認定エステティシャン資格取得に必要な機器・WAX脱毛の習得					
授業運営方法	演習形式・ 講義形式					
教科書	ボディ実技理論					

＜授業計画＞		前 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－3	自分を知る	メジャーリング（採寸）
		カッピング・カッサ	カッピング・カッサ・脚マッサージ
第2回	4－6	バンテージ バイブレーション	足湯・脚マッサージ・バンテージ
			バイブレーション機器操作・実技練習
第3回	7－9		バイブレーション機器操作・実技練習
			足湯・脚マッサージ・バンテージ
第4回	10－12	低周波機器 超音波機器	低周波機器操作・実技練習
			超音波機器操作・実技練習（ボディ）
第5回	13－15		超音波機器操作・実技練習（ボディ）
			低周波機器操作・実技練習
第6回	16－18	ブラシ洗浄・ION導入	背中ブラシ洗浄・ION導入・石膏パックパック
第7回	19－21	WAX脱毛実習	ウォームWAX脱毛（腕・脚）・ホットWAX（腋）
第8回	22－24	プランニング	期末試験ペア発表→カウンセリングを行う モデルに合わせた、ボディプランニング作成
第9回	25－27		
第10回	28－30	期末試験	期末試験

初回持ち物	筆記用具・実技ファイル、シーツ、ローブ、茶タオル6枚、理論で配布したプリントは必須、 他、1年前期のボディ実技と同様の持参物

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	メイク			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	45 時間	1年合計単位	45 時間
2年単位	前期	105 時間	後期	105 時間	2年合計単位	210 時間
担当講師	林 愛美 ・ 根本 夏味					
	実務経験	有	広告、CM等の各種撮影、ブライダル、ヘアメイクサロン、百貨店イベント等のヘアメイクの経験からそれぞれのイメージにあったヘアメイクの知識、技術、コミュニケーション力、提案力などの幅広いスキルを伝えていく。			
目的及び概要	決められた時間内に骨格に合わせたメイクを施せるよう、よりパーソナルなアドバイスを。作品作りに必要な技術力や知識、ヘアアレンジを学びます。					
到達目標	知識、技術のクオリティを上げ、コミュニケーション、提案力を高める。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					

＜授業計画＞		前 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－7	ベースメイク	コンシーラー復習、チーク、ハイライト、シェーディング
第2回	8－14	アイブロウ	骨格に合わせたアイブロウ
第3回	15－21	アイメイク	アイシャドウ、ビューラー、マスカラ(曲線)
第4回	22－28	アイメイク	アイシャドウ、ビューラー、マスカラ(直線)
第5回	29－35	リップ	リップライナー、オーバーリップ、インカーブ、2トーン
第6回	36－42	トレンドメイク	そばかすメイク、カラーライナー
第7回	43－49	老人メイク＋アンチエイジング	特殊メイク、年齢に合わせたメイク
第8回	50－56	スワイメイク	アジアメイク
第9回	49－63	ブライダルメイク	タイプ別メイク
第10回	64－70	化粧品メーカー研究①	国産・CA
第11回	71－77	化粧品メーカー研究②	国産（フェミニン）
第12回	78－84	化粧品メーカー研究③	外資(モード)
第13回	85－91	化粧品メーカー研究④	外資(フェミニン)
第14回	92－98	期末試験（コンテスト）	各ブランドBAメイク
第15回	99－105	自由メイク	好きなテーマでメイク 講師からの個別アドバイス

初回持ち物	ヘアメイク道具一式、筆記用具、ノート

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	メイク			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	45 時間	1年合計単位	45 時間
2年単位	前期	105 時間	後期	105 時間	2年合計単位	210 時間
担当講師	林 愛美 ・ 根本 夏味					
	実務経験	有	広告、CM等の各種撮影、ブライダル、ヘアメイクサロン、百貨店イベント等のヘアメイクの経験からそれぞれのイメージにあったヘアメイクの知識、技術、コミュニケーション力、提案力などの幅広いスキルを伝えていく。			
目的及び概要	決められた時間内に骨格に合わせたメイクを施せるよう、よりパーソナルなアドバイスを。作品作りに必要な技術力や知識、ヘアアレンジを学びます。					
到達目標	知識、技術のクオリティを上げ、コミュニケーション、提案力を高める。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					

＜授業計画＞		後 期	
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－7	化粧品広告研究①	ブランド別ヘアメイク研究
第2回	8－14	化粧品広告研究②	ブランド別ヘアメイク研究
第3回	15－21	ハロウィンメイク①	ピエロメイク
第4回	22－28	ハロウィンメイク②	ゾンビ、傷メイク
第5回	29－35	CATSメイク	特殊メイクを学ぶ（JMAコンテスト締切）
第6回	36－42	ブライダル	ブライダルヘアメイク
第7回	43－49	メンズメイク	メンズヘアメイクの知識を学ぶ
第8回	50－56	年代別ヘアメイク50S	ピンナップガール/オードリー
第9回	49－63	年代別ヘアメイク60S	ブリジット・バルドー/ツイッギー
第10回	64－70	年代別ヘアメイク70S	ヒッピー
第11回	71－77	年代別ヘアメイク80S	バブル
第12回	78－84	世界のメイクトレンド	国別メイクの好み、トレンドを学ぶ
第13回	85－91	期末テスト練習	ヘアメイクイメージ構成 ヘアメイク練習
第14回	92－98	期末テスト	【ヘアメイクコンテスト】
第15回	99－105	クリエイティブメイク	コンテスト結果発表 幅広いメイクの知識を学ぶ

初回持ち物	ヘアメイク道具一式、筆記用具、ノート

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ヘアアレンジ			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	15 時間	1年合計単位	15 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	林 愛美 ・ 吉永 由					
	実務経験	有	ヘアメイクアップアーティストの立場から、撮影、ファッションショーなどの経験をふまえヘアテクニックを指導する。			
目的及び概要	1年次のヘアアレンジの基礎の復習とレベルアップを目指した応用					
到達目標	基礎技術の確認・モデルの希望に沿ったスタイル制作					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回 第2回 第3回	1－3	スパイラル巻き	19mmのアイロンを使用した巻き方(ウィッグ)
第4回 第5回 第6回	4－6	編みおろしアレンジ	編み込み＋ロープ編み(ウィッグ)
第7回 第8回 第9回	7－9	盛り髪	逆毛＋盛り髪
第10回 第11回 第12回	10－12	期末テスト練習（テーマ指定）	指定したテーマに合わせてヘアアレンジを考え練習(相モデル)
第13回 第14回 第15回	13－15	期末テスト	指定したテーマに合わせてヘアアレンジ(相モデル)

初回持ち物	ウィッグ・コーム・ブラシ類・タオル3枚、ダッカール4本、前髪ピン、シラバス、ノート、筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ヘアアレンジ			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	15 時間	1年合計単位	15 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	ヘア担当講師					
	実務経験	有	ヘアメイクアップアーティストの立場から、撮影、ファッションショーなどの経験をふまえヘアテクニックを指導する。			
目的及び概要	前期のヘアアレンジの基礎の復習とレベルアップを目指した応用					
到達目標	基礎技術の確認・モデルの希望に沿ったスタイル制作					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回 第2回 第3回	1－3	1年次・前期復習	40分でカーラーから仕上げまで・シニヨン復習（ウィッグ使用）
第4回 第5回 第6回	4－6	セルフヘアアレンジ	セルフヘアアレンジの技術を身に付ける
第7回 第8回 第9回	7－9	キッズヘアアレンジ	デイリーから撮影用まで幅広いデザインを学ぶ（ウィッグ使用）
第10回 第11回 第12回	10－12	スタイル制作(期末テスト)	相モデルでモデルの希望するドレスでスタイルをつくる
第13回 第14回 第15回	13－15	和装ヘアアレンジ	基本の和装ヘアを学ぶ（ウィッグ使用）

初回持ち物	ウィッグ・コーム・ブラシ類・タオル3枚、ダッカール4本、前髪ピン、シラバス、ノート、筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	メイク検定対策			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	90 時間	1年合計単位	90 時間
2年単位	前期	60 時間	後期	－	2年合計単位	60 時間
担当講師	羽鳥　美保 林　愛美					
	実務経験	有	メイクアップアーティスト・美容部員などのメイクアップアドバイスの経験をふまえ、カウンセリングやメイクアップの基本と応用・コミュニケーション力を伝えていく。			
目的及び概要	JMA（メイク検定）1級合格に向けて学習 技術はもちろん、お客様やモデルの要望やイメージに合わせたメイクをカウンセリングをしながら行い、アドバイスできるように学習します。					
到達目標	JMA検定1級合格を目指し、これから社会へ出ることを念頭に、コミュニケーション力のある信頼される美容部員、メイクアップアーティストになることが目標					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	JMA1級テキスト・プリント配布					

＜授業計画＞		前　期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－4	顔のバランスと印象分析	1級について、顔のバランス分析と印象/カウンセリングシート/ベース1
第2回	5－8	ｲﾒｰｼﾞﾒｲｸ理論①	メイクの心理効果・ 視覚効果/ポイントメイクテクニック1.色.形.質感
第3回	9－12	メイクアップカウンセリング	カウンセリングの仕方・顔分析/メイクの強弱/修正メイクテクニック
第4回	13－16	キュートメイク	モデルの顔分析・キュートメイクデザインプランシート作成と実習
第5回	17－20	クールメイク	モデルの顔分析・クールメイクデザインプランシート作成と実習
第6回	21－24	フレッシュメイク	モデルの顔分析・フレッシュメイクデザインプランシート作成と実習
第7回	25－28	エレガントメイク	モデルの顔分析・エレガントメイクデザインプランシート作成と実習
第8回	29－32	カウンセリングイメージメイク	カウンセリング+アドバイスシートの書き方、解説の仕方/ポイントメイク2
第9回	33－36	アドバイスシート	アドバイスシートの書き方、解説の仕方/ポイントメイク4
第10回	37－40	JMA1級検定対策	タイムトライアル
第11回	41－44	JMA1級検定対策	トータル練習
第12回	45－48	期末試験①	JMA1級検定対策　模擬試験
第13回	49－52	期末試験②	JMA2級検定対策　模擬試験
第14回	53－56	JMA1級検定試験	JMA1級検定試験
第15回	57－60	メイクアップ応用	模写メイク
初回持ち物	JMA1級テキスト、検定用メイク道具一式、15cm定規、無地ノート（スタジオメイクと共通）、筆記用具、付箋		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	スタジオ撮影プロジェクト　メイク			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	15　時間	1年合計単位	15　時間
2年単位	前期	45　時間	後期	45　時間	2年合計単位	90　時間
担当講師	林　愛美　・　根本 夏味					
	実務経験	有	広告、CM等の各種撮影、ブライダル、ヘアメイクサロン、百貨店イベント等のヘアメイクの経験からそれぞれのイメージにあったヘアメイクの知識、技術、コミュニケーション力、提案力などの幅広いスキルを伝えていく。			
目的及び概要	作成した作品をコンテストへ出品することを目標としています。作品を作る過程を実践的に学び、撮影フローまで自ら考えることによって自主的に動ける人材になることが目的です。					
到達目標	テーマに合ったヘア、メイク、ファッションのトータルイメージのバランスを考えコンテスト出品作品を完成させる。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3	業界について学ぶ	業界の仕事　ジャンルについての検証　トレース
第2回	4－6	世界観を知る①　作品	デッサン方法　練習
第3回	7－9	世界観を知る②　映像	ラグゼ過去の受賞作品
第4回	10－12	世界観を知る②　ショー	ショーメイク、つけまつげ・ウィッグ
第5回	13－15	クリエイティブメイク①	星座モチーフHM＋撮影
第6回	16－18	クリエイティブメイク②	星座モチーフHM
第7回	19－21	コンセプトシート作成	メイク・ファッション　ラグゼコンセプトシート作成
第8回	22－24	メイク練習	相モデルでメイク練習
第9回	25－27	ヘア練習	相モデルでヘア練習　（ファッション制作物考案）
第10回	28－30	装飾品制作①	基本の針の使い方　製作
第11回	31－33	装飾品制作②	制作　背景紙決定
第12回	34－36	タイムスケジュール作成	ポージング、ライティング、当日の流れについて
第13回	37－39	自由練習	各自練習
第14回	40－42	期末テスト①	ラグゼHM最終練習(前半)
第15回	43－45	期末テスト②	ラグゼHM最終練習(後半)

初回持ち物	筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	スタジオ撮影プロジェクト　メイク			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	15　時間	1年合計単位	15　時間
2年単位	前期	45　時間	後期	45　時間	2年合計単位	90　時間
担当講師	林　愛美　・　根本 夏味					
	実務経験	有	広告、CM等の各種撮影、ブライダル、ヘアメイクサロン、百貨店イベント等のヘアメイクの経験からそれぞれのイメージにあったヘアメイクの知識、技術、コミュニケーション力、提案力などの幅広いスキルを伝えていく。			
目的及び概要	作成した作品をコンテストへ出品することを目標としています。作品を作る過程を実践的に学び、撮影フローまで自ら考えることによって自主的に動ける人材になることが目的です。					
到達目標	テーマに合ったヘア、メイク、ファッションのトータルイメージのバランスを考えコンテスト出品作品を完成させる。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					

＜授業計画＞		後　期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－3	ラグゼ作品セレクト	ITルームにて作品セレクト、反省　学園祭に向けて
第2回	4－6	クリエイティブメイク	デッサン、ヘアメイク
第3回	7－9	学園祭練習①	ファッションショー　製作、練習
第4回	10－12	学園祭練習②	ファッションショーHM練習　衣装合わせ
第5回	13－15	学園祭練習③	学園祭反省、卒業制作考案
第6回	16－18	卒業制作練習②	HM練習＋制作
第7回	19－21	卒業制作練習②	HM練習＋制作
第8回	22－24	卒業制作練習②	ITルームにて作品セレクト、反省
第9回	25－27	作品セレクト＋日本のメイク	年代別ギャルHM
第10回	28－30	ギャルメイク	
第11回	31－33	コンセプトシート作成	学園祭反省、卒業制作考案
第12回	34－36	卒業制作練習①	HM練習＋制作
第13回	37－39	卒業制作練習②	HM練習＋制作
第14回	40－42	作品セレクト＋日本のメイク	ITルームにて作品セレクト、反省
第15回	43－45	ギャルメイク	年代別ギャルHM
初回持ち物	筆記用具		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	スタジオ撮影プロジェクト　ファッション			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15　時間	後期	15　時間	2年合計単位	30　時間
担当講師	林　愛美　・　根本 夏味					
	実務経験	有	広告、CM等の各種撮影、ブライダル、ヘアメイクサロン、百貨店イベント等のヘアメイクの経験からそれぞれのイメージにあったヘアメイクの知識、技術、コミュニケーション力、提案力などの幅広いスキルを伝えていく。			
目的及び概要	作成した作品をコンテストへ出品することを目標としています。作品を作る過程を実践的に学び、撮影フローまで自ら考えることによって自主的に動ける人材になることが目的です。					
到達目標	テーマに合ったヘア、メイク、ファッションのトータルイメージのバランスを考えコンテスト出品作品を完成させる。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1−7	撮影①	ラグゼビューティー作品
第2回			
第3回			
第4回			
第5回			
第6回			
第7回			
第8回	8−15	撮影②	ラグゼビューティー作品
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

初回持ち物	ヘアメイク道具一式

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	スタジオ撮影プロジェクト　ファッション			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15　時間	後期	15　時間	2年合計単位	30　時間
担当講師	林　愛美　・　根本 夏味					
	実務経験	有	広告、CM等の各種撮影、ブライダル、ヘアメイクサロン、百貨店イベント等のヘアメイクの経験からそれぞれのイメージにあったヘアメイクの知識、技術、コミュニケーション力、提案力などの幅広いスキルを伝えていく。			
目的及び概要	作成した作品をコンテストへ出品することを目標としています。作品を作る過程を実践的に学び、撮影フローまで自ら考えることによって自主的に動ける人材になることが目的です。					
到達目標	テーマに合ったヘア、メイク、ファッションのトータルイメージのバランスを考えコンテスト出品作品を完成させる。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1―7	撮影①	卒業制作作品
第2回			
第3回			
第4回			
第5回			
第6回			
第7回			
第8回	8―15	撮影②	卒業制作作品
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

初回持ち物	ヘアメイク道具一式

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ショー&コンテスト講座			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	30 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	篠　あけみ					
	実務経験	有	パリ・コレクションを始め様々なコレクションへ出演。モデルスクールで後進の指導にあたるほか、一般企業向けのファッションショーのプロデュースや、一般人向けのセミナー等の活動も行っている。			
目的及び概要	すが、そもそもファッションショーはどうやって作られているのでしょうか？ 今まで学んだ内容を活かし、発想力を高めチーム力を身に付ける。					
到達目標	Show、に向け、知識,技術のクオリティをあげ、コミュニケーション力、提案力をつけ、臨機応変な動きができる					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回 第2回 第3回	1—3	ファッションの成り立ち	ファッション業界に関わる立場として覚えておくべき事 ブーケの持ち方／注意点
第4回 第5回 第6回	4—6	ショーの組み立て方	次回の撮影と最後の授業に行うショーの為のドレス選び ２点～４点（白物・色物）
第7回 第8回 第9回	7—9	ウェディングドレス撮影 （白物）	立ち・座りを１人2カット
第10回 第11回 第12回	10—12	エスコート	エスコート2種類 ウォーキング／ショーリハーサル トレーンがあるドレスのターンの仕方
第13回 第14回 第15回	13—15	ウェディングドレスショー本番	筆記試験 色物ドレス・白物ドレス 会場：8Fスペース
初回持ち物	筆記用具		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ショー&コンテスト講座(メイク)			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	30 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	林 愛美					
	実務経験	有	広告、CM等の各種撮影、ブライダル、ヘアメイクサロン、百貨店イベント等のヘアメイクの経験からそれぞれのイメージにあったヘアメイクの知識、技術、コミュニケーション力、提案力などの幅広いスキルを伝えていく。			
目的及び概要	すが、そもそもファッションショーはどうやって作られているのでしょうか？ 今まで学んだ内容を活かし、発想力を高めチーム力を身に付ける。					
到達目標	Show、に向け、知識,技術のクオリティをあげ、コミュニケーション力、提案力をつける。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1—3	ステージアイメイク	ショー用ヘアメイクの知識を学ぶ
第2回			
第3回			
第4回	4—6	cloudメイク	ショー用ヘアメイクの知識を学ぶ
第5回			
第6回			
第7回	7—9	ステージリップメイク	ショー用ヘアメイクの知識を学ぶ
第8回			
第9回			
第10回	10—12	FUS用HM	HM練習
第11回			
第12回			
第13回	13—15	FUS用HM	HM練習
第14回			
第15回			

初回持ち物	筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	メイクカウンセリング			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	30 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	富田里恵子					
	実務経験	有	認定メイクセラピストとして、個人及び企業向けに印象アップのメイク術を伝えている。メイクセラピー検定2級の知識と技術を、学生の成長と可能性を支援するマインドで指導する。			
目的及び概要	メイクセラピーの手法を学び、カウンセリングに必要な心理学や人間関係論、メイクアップに必要な印象分析とメイク理論、色彩学等の知識と技術を習得する。外見を美しくするのみでなく、受け手の心理的な援助ができるようなカウンセリングマインドの擁立を目指す。					
到達目標	要望を引き出すカウンセリング技術の基本とコミュニケーション、オーダーに伴った印象を理論的に分析して必要なメイクを提供できるメイク技術の基本を習得する。メイクセラピー検定2級に合格する。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	メイクセラピー検定2級対策					

＜授業計画＞		後 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1・2	オリエンテーション	メイクセラピーとは・検定について
第2回	3・4	印象分析	印象分析・錯視メイク理論・セルフメイク（遠心、求心）
第3回	5・6	色彩とメイク	色彩心理と効果・印象チェンジメイク
第4回	7・8	メイク実習①	イメージ別メイクの習得（知的な印象）
第5回	9・10	化粧心理学	印象管理・化粧の効用・承認欲求と自己承認 他
第6回	11・12	メイク実習②	イメージ別メイクの習得（優しい印象）
第7回	13・14	メイクセラピー的心理学	シャドー・交流分析・論理療法・防衛機制 他
第8回	15・16	メイク実習③	イメージ別メイクの習得（健康的な印象）
第9回	17・28	カウンセリング概論	カウンセリングに必要なテクニック
第10回	29・20	メイク実習④	イメージ別メイクの習得（華やかな印象）
第11回	21・22	振り返り	これまでの学びの振り返り
第12回	23・24	筆記試験対策	マークシート問題・論述問題・マナー対策
第13回	25・26	メイク実技試験対策	実技過去問題・フィードバック
第14回	27・28	期末試験	期末試験（筆記）
第15回	29・30	期末試験返却・検定直前対策	期末試験解答の解説・検定前注意事項

初回持ち物	テキスト・筆記用具・クリアファイル（プリント用）

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	和装着付け			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	30 時間	後期	－	2年合計単位	30 時間
担当講師	浅岡　久美・林　愛美・根本　夏味					
	実務経験	有	ヘアメイクアップアーティスト、着付け師の立場から、撮影、ブライダル、スタジオでの経験をふまえ、ヘアアレンジと着付けの基本を伝える。			
目的及び概要	浴衣の着付けを基礎から学び、最終はモデルに施すことと浴衣に合わせたヘアメイクを施し和装のコーディネイトを学びます。					
到達目標	和装の着付けを他人にも自分にもできるるようになり、和装のヘアメイクの提案ができるようになる。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1・2	着物の基礎知識	小物について、着物の部位、たたみ方など
第2回	3・4	浴衣の着付け1	浴衣の着せ方、腰ひもの締めかた
第3回	5・6	浴衣の着付け2	浴衣の着せ方、帯の結び方
第4回	7・8	浴衣の着付け3	復習
第5回	9・10	浴衣の着付け4	変わり結び
第6回	11・12	ヘアアレンジ1	浴衣向けのヘアアレンジ
第7回	13・14	浴衣着付け自装1	自分で着る方法
第8回	15・16	浴衣着付け自装2	〃
第9回	17・28	期末テストに向けて	ヘアメイクイメージ画制作
第10回	29・20	期末テスト練習1	ヘアメイク練習
第11回	21・22	期末テスト練習2	ヘアメイク練習
第12回	23・24	期末テスト練習3	着付けの復習
第13回	25・26	期末テスト1	相モデルにて浴衣着付け、ヘアメイク
第14回	27・28	期末テスト2	相モデルにて浴衣着付け、ヘアメイク
第15回	29・30	ヘアアレンジ2	袴のヘアアレンジ

初回持ち物	筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ファッション講座			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	30時間	2年合計単位	30時間
担当講師	安藤　恵					
	実務経験	―	アパレルバイヤーとして、企業の買付けやMDを担当。社内の店長育成研修ではMD教育を担当。バイヤー経験を活かして、ファッションの基礎知識やトレンドについての指導を行う。			
目的及び概要	この授業ではファッションのデザイン、名称、特徴などの基本的な知識を深め、ファッションアイテムの構造やファッションのトレンドについても学び、幅広く様々な教養を身につけることを目的とする。自分自身の色を強くだせるように表現を深め、与えられたテーマをリサーチすることで、今までにない発見や興味の幅を広げ、考える力と表現できる力をつける。					
到達目標	ファッションに関する基礎的知識やアイテムの構造について理解し、説明することができる。また、ファッションの最新トレンドに関心を持ち、情報を分析する力を養い、デザインに取り入れることができる。ファッションの知識を通して、仕事効率を上げることができる発想力を身に付けます。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書						
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	授業内容説明	好きなファッションについて
第2回	2	ファッションの歴史	ファッションの歴史
第3回	3	トレンド	トレンドとは
第4回	4		2023-24秋冬トレンド
第5回	5	素材	素材について①
第6回	6		素材について②・取扱い
第7回	7	デザイン	デザインについて①
第8回	8		デザインについて②
第9回	9	骨格診断	自分の”似合う”を知ろう
第10回	10	ディスカッション	私に似合うファッション紹介
第11回	11	シーズンマップ	シーズンマップ夏
第12回	12		シーズンマップ秋
第13回	13		シーズンマップ冬
第14回	14		シーズンマップ春
第15回	15	期末テスト	期末テスト

初回持ち物	筆記用具、ノート、ファイル（A4 2穴タイプ）

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ファッション講座(ブランド)			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	30時間	2年合計単位	30時間
担当講師	根本　夏味					
	実務経験	有	日本メイクアップ技術検定取得 美容部員の経験を活かし、接客方法やメイクの基礎からトレンドメイクなどの幅広いメイク技術を伝えていく。			
目的及び概要	化粧品ブランドを中心としたブランドの歴史を学び、知識を身に着ける事でメイクの実技や就職活動に活かす事を目的とします。					
到達目標	化粧品ブランドの種類・歴史を理解する。また、ブランド別のメイクの特徴や違いを理解する。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	ブランドの歴史	外資ブランド①の歴史や特徴
第2回	2	ブランドの歴史	国産ブランド①の歴史や特徴
第3回	3	ブランドの歴史	外資ブランド②の歴史や特徴
第4回	4	ブランドの歴史	国産ブランド①の歴史や特徴
第5回	5	ブランドの歴史	外資ブランド①の歴史や特徴
第6回	6	ブランドの歴史	国産ブランド①の歴史や特徴
第7回	7	ブランドの歴史	外資ブランド①の歴史や特徴
第8回	8	ブランドの歴史	国産ブランド①の歴史や特徴
第9回	9	ブランドの歴史	外資ブランド①の歴史や特徴
第10回	10	ブランドの歴史	国産ブランド①の歴史や特徴
第11回	11	ブランドの歴史	外資ブランド①の歴史や特徴
第12回	12	ブランドの歴史	国産ブランド①の歴史や特徴
第13回	13	ブランドの歴史	外資ブランド①の歴史や特徴
第14回	14	期末テスト	知識確認の筆記テスト
第15回	15	総まとめ	今までの授業を参考にレポート作り

初回持ち物	筆記用具・A4サイズのノート

成績評価方法		定期試験	○	筆記試験
	・出席率			実技試験
	・定期試験や小テスト			実施しない（提出物）
	・授業参加意欲			

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	化粧品検定			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	15 時間	2年合計単位	15 時間
担当講師	本田 誓子					
	実務経験	有				
目的及び概要	化粧品検定の資格取得を通じて、美容の奥深さと楽しさを知り、より美容に詳しいカウンセリングができる美容クリエイターの育成サポート					
到達目標	日本化粧品検定2級 取得					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書						
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	美容皮膚科学	皮膚構造としくみ P52～67
第2回	2	美容皮膚科学	皮膚構造としくみ P52～67
第3回	3	美容皮膚科学 肌の手入れと正しい知識	皮膚構造としくみ P52～67 P72～
第4回	4	美容皮膚科学 肌の手入れと正しい知識	皮膚構造としくみ P52～67 P72～
第5回	5	肌の手入れと 正しい知識	肌タイプと見分け方～ P～93
第6回	6	肌の手入れと 正しい知識	肌タイプと見分け方～ P～93
第7回	7	紫外線が肌に与える影響 美肌・美ボディへの対策	紫外線が肌に与える影響 P120～ 美肌・美ボディへの対策P112～119 P126～137
第8回	8	紫外線が肌に与える影響 美肌・美ボディへの対策	紫外線が肌に与える影響 P120～ 美肌・美ボディへの対策P112～119 P126～137
第9回	9	メイクアップの 基本テクニックP.94～	P94～107 試験ポイント
第10回	10	メイクアップの 基本テクニックP.94～	P94～107 試験ポイント
第11回	11	期末テスト	模擬試験
第12回	12	期末テスト	模擬試験
第13回	13	テスト返却・答え合わせ	解説と検定対策(おさらい)
第14回	14	テスト返却・答え合わせ 検定対策	解説と検定対策(おさらい)
第15回	15	検定本番	日本化粧品検定2級 受検

初回持ち物	2級･3級対策テキスト 問題集 手鏡(毎回持参) メイクアップ講座の際には手持ちのメイク道具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	資格選択授業　ネイル検定			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	30　時間	1年合計単位	30　時間
2年単位	前期	60　時間	後期	－	2年合計単位	60　時間
担当講師	平光 真理					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	NPO法人　日本ネイリスト協会ジェルネイル技能検定初級取得					
到達目標	爪に関する専門的な知識を身に付け、カウンセリングが実践出来るよう専門知識の幅を広げ、技術と知識のバランス力を身に付ける。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書						

＜授業計画＞		前　期	
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－4	JNA初級検定について	試験内容の確認
第2回	5－8	基本ケア	JNEC3級内容ケア、ラウンドスタイル ニッパー、ハンドリングの見直し
第3回	9－12		
第4回	13－16	ジェルネイル理論	重合の仕組み、プロダクツの理解／デモストレーション
第5回	17－20	初級対策	プレパレーション、ジェルの塗り方、オフ
第6回	21－24		
第7回	25－28		
第8回	29－32	初級対策アート	ドラッグアート
第9回	33－36	練習	苦手練習
第10回	37－40	総合トレーニング	タイムトライアル練習
第11回	41－44		
第12回	45－48		
第13回	49－52		
第14回	53－56		
第15回	57－60	検定日	9/1（金）　検定試験本番

初回持ち物	ネイルノート（15cm程度のもの）、キッチンペーパー1ロール、ジップロック、初級道具一式、 3級道具一式、名前シール、ポリ袋、セロハンテープ

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	資格選択授業　エステ検定			クラス名	P2D	
1年単位	前期	－	後期	30　時間	1年合計単位	30　時間
2年単位	前期	60　時間	後期	－	2年合計単位	60　時間
担当講師	水野丘子・大内　博子					
	実務経験	有	検定試験監督者が講師のため、検定試験合格に必要なスキルの指導を行いながら合格を目指す。			
目的及び概要	センター技術力確認試験ボディ実技試験合格を目標にした技術・知識・アドバイス・分析力の習得。 検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目の基礎が求められます。					
到達目標	日本エステティック試験センター技術力確認試験ボディ実技試験合格					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					

＜授業計画＞		前　期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－4	1年前期の復習	理論／1年次の復習（脚背面、脚表面）のマッサージ練習
第2回	5－8	背中マッサージ習得	理論／背中マッサージデモスト→練習
第3回	9－12		理論／背中マッサージ練習
第4回	13－16	腕マッサージ習得	理論／腕マッサージデモスト→練習
第5回	17－20	ボディチェック、腹部マッサージの習得	理論／ボディチェック復習→腹部マッサージデモスト→練習
第6回	21－24	コンサルシート、背面	理論／ボディチェック復習→背面練習（脚背面、背中）・コンサルスタート
第7回	25－28	コンサルシート、表面	理論／ボディチェック復習→表面練習（脚表面、腕、腹部）
第8回	29－32	背面流れの練習	理論／コンサル、背面練習、口頭試問練習開始
第9回	33－36	表面流れの練習	理論／コンサル、表面練習、口頭試問
第10回	37－40	全身の流れの習得 検定試験の流れの理解 技術強化	理論／全身練習①
第11回	41－44		理論／全身練習②
第12回	45－48	模擬試験、期末試験	理論／模擬試験、期末試験（検定試験の流れで実施）
第13回	49－52	フィードバック	理論／模擬試験・期末試験のフィードバック＆練習
第14回	53－56	検定本番	検定本番
第15回	57－60	おたのしみ授業	おたのしみ授業

初回持ち物	ホットタオル2本、その他、1年次のエステボディ実技授業と同様の持ち物

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				